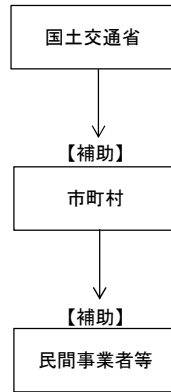


平成27年度行政事業レビューシート ( 国土交通省 )

<b>事業名</b>	歴史的風致活用国際観光支援事業			<b>担当部局庁</b>	都市局		<b>作成責任者</b>	
<b>事業開始年度</b>	平成27年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	平成31年度	<b>担当課室</b>	公園緑地・景觀課 景觀・歴史的な文化環境整備室		課長 榎野 良明	
<b>会計区分</b>	一般会計			<b>政策・施策名</b>	7 都市再生・地域再生の推進 25 都市再生・地域再生を推進する			
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	-			<b>関係する計画、 通知等</b>	地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律、 「日本再興戦略」改訂、経済財政運営と改革の基本方針、 観光立国実現に向けたアクション・プログラム			
<b>主要政策・施策</b>	観光立国、地方創生			<b>主要経費</b>	その他の事項経費			
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	広域観光周遊ルートの形成に向けた取組の一環として、地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律に基づく歴史的風致維持向上計画認定都市において、受入環境整備に係るソフト・ハード両面の取組みに対して総合的に支援することにより、歴史的風致を活用した都市の魅力の向上及び賑わいの創出を図り、地域活性化を実現することを目的とするものである。							
<b>事業概要 (5行程度以内。 別添可)</b>	本事業は、地域固有の歴史・文化を国際観光資源としてより有効に活用するため、広域観光周遊ルート形成に向けた歴史的風致維持向上計画認定都市を対象として、官民により構成された協議会が作成する整備計画に位置づけられた受入環境整備について、ソフト・ハード両面から総合的に支援するものである。補助率について、市町村が実施する事業は、当該事業の実施に要する経費の2分の1以内、市町村以外の者が実施する事業は、市町村が補助する経費の2分の1以内で、かつ、当該事業に要する経費の3分の1以内としている。							
<b>実施方法</b>	補助							
<b>予算額・ 執行額 (単位:百万円)</b>			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	120	120	
		補正予算	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-		
	計	0	0	0	120	120		
執行額	-	-	-	-				
執行率 (%)	-	-	-	-				
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 31 年度
	整備計画を策定して本事業を実施した歴史的風致維持向上計画認定都市を、平成31年度までに33都市にする。	整備計画を策定して本事業を実施した歴史的風致維持向上計画認定都市数	成果実績	都市	-	-	-	
			目標値	都市	-	-	-	33
			達成度	%	-	-	-	
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 32 年度
	平成32年において、訪日外国人旅行者数を2,000万人とする。	訪日外国人旅行者数	成果実績	万人	-	-	-	
			目標値	万人	-	-	-	2,000
			達成度	%	-	-	-	
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載 <input type="checkbox"/> チェック								
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
	広域観光周遊ルート形成の一環として、本事業の整備計画を作成した協議会数	活動実績	団体	-	-	-		
		当初見込み	団体	-	-	-	8	
<b>単位当たり コスト</b>	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	事業費(百万円)／協議会数(団体)	単位当たり コスト	百万円	-	-	-	15	
		計算式	事業費/協議会数	-	-	-	120/8	
平成27・28年度予算内訳(単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	歴史的風致活用国際観光支援事業費補助金	120	120					
	計	120	120					

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	歴史・文化を活用した観光は、旅行者の関心が高く、地域にとっても経済の活性化等に繋がることから、受入環境整備の促進は、国民や社会のニーズを的確に反映している。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	2020年オリンピック・パラリンピック東京大会開催により、訪日外国人旅行者の増加が見込まれる中、国際観光は、国が推進すべき事業である。		
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	2020年までに訪日外国人旅行者数2000万人を目指すこととしており、優先度が高い事業となっている。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-			
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	市町村等にも適正な負担を求めていることとしており、受益者との負担関係は妥当である。		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	申請内容を精査し、真に必要な内容についてのみ補助することとしており、単位あたりのコストは妥当である。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	地域の歴史・文化を活用した観光・地域活性化を促進する事業内容としており、真に必要なものに限定されている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載) その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか	- -			
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか	-			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-			
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)				
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	本事業は「日本再興戦略」、「観光立国実現に向けたアクション・プログラム」において、「世界に通用する魅力のある観光地づくり」が掲げられているとおり、その目的に沿って地域固有の歴史・文化を活用した訪日外国人旅行者の受入環境整備を推進する施策であり、優先度も極めて高い。また、地域の歴史・文化を活用した観光・地域活性化を促進する真に必要なものに限定し、適切な執行を図る。			
	改善の方向性	-			
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
2020年のオリンピック・パラリンピックまでに一定の成果をあげることを意識しつつ、観光庁と連携し、効果的・効率的に執行すべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
インバウンド観光の効果を地方へ行きわたらせるとともに、観光庁と連携し、2020年のオリンピック・パラリンピックまでに本事業を効果的・効率的に実施する観点から、新たな成果目標として「平成32年において、訪日外国人旅行者数を2,000万人とする。」を追加した。					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	-	平成26年度	新27-037		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位: 百万円)